

# 第2学年PTA実践活動のご案内

## はたらくおとなとインター・ビュー

# やさしくただしくおもしろく

### 子どもとおとなが学ぶ時間

今年度のPTA実践活動のテーマは「はたらくおとなとインター・ビュー」です。この活動を通して、「おとなと子どもが学ぶ時間」をつくりだしたい、という思っています。

今年度は、職場体験学習を中止しなければならぬ状況となり、子どもたちが社会ではたらくおとなと関

わる機会が減っています。子どもたちの目が社会に、そして未来に向くためのきっかけをつくりたくて、今回の実践活動を企画しました。

実践活動では、保護者のみなさんに「インタビュー」(インタビューに答える役割)を務めていただきます。子どもたちからは、お仕事・ご職業について、様々な質

問がやってきます。このインタビューにおいて、絶対にしてはならない質問があります。それは「あなたの仕事は何ですか?」という質問です。この質問をすることなく、どのようなお仕事をされているのか、そして、お仕事をなさるうえで、どのようなことを大切にされているのか等々を聞き取っていきます。そして、インタビューの最後にお仕事の名前(職業名)を明かして

いただき、インタビューで語り切れなかったことを語っていただきます。

子どもたちはこれまでの探究活動を通して、インタビューの方法について学びつつあります。学年通信第4号でもお伝えしましたが、私たちはインタビューのことを、あえて「インター・ビュー」と呼んでいます。

話し手と聞き手の対話を通して、話し手と聞き手の双方に「学び」や「発見」が生まれることを目指しています。子どもたちの質問に答えることを通して、保護者のみなさんにも新たな「発見」や「学び」が生まれる、そんな時間をつくりたいのです。そういう思いから「子どもとおとながまなぶ時間」というサブタイトルを付けています。

もちろん、インタビューではなく、インタビューの参観や見学としてご参加いただくことも大歓迎です。昨年度から参観日を開催することも難しい状況が続いています。子どもたちの学校での様子を見る機会としてもご利用いただけると幸いです。多くのみなさんの参加を心からお待ちしております。どうぞよろしくお願いたします。

### アートの魅力を肌で感じる場所

第2学年の教室は一階と二階に分かれています。その間にある階段には、いくつかのアート作品を飾っています。それらの作品は、あるアーティストによって創造されたものです。そのなかのひとつは「こけし流星群」と名づけられた作品です。

「この作品をつくったアーティストに質問をしてみました。『このような発想はどうやって生まれてくるのですか?』そのアーティストはこう答えました。『いやあ、降ってくるのです。』この答えそのものがアートです。アイデアとは「うみ

だすもの」ではなく「ふってくるもの」なのです。おそらく、様々な角度から現実を切り取ったり、視点を移したり、動かしたりしながら、アイデアが「ふってくる」素地をつくっているのだらうと思いました。

最近では、ビジネスの世界にアートの感覚を取り入れることがひとつのブームとなりつつあります。論理だけでは語れない部分に光を当てていくアートの役割が見直され、再評価されてきているのです。私たちの階段には、そんな感覚を研ぎ澄ませることのできる作品がならんでいます。

はたらくおとなとインター・ビュー

2021年7月8日(木) 12:50-15:20

宮崎大学教育学部附属中学校 体育館

